

# 南信州広域連合第7回広域連合会議 結果報告

日時：令和元年10月23日(水) 14:30～15:25

場所：下條村コスモホール

## 【出席者】14市町村長、副管理者

〔南信州地域振興局〕土屋局長

〔飯田建設事務所〕丸山所長

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔飯田広域消防〕赤羽目消防長・有賀消防次長兼総務課長

〔飯田環境センター〕北原事務長

〔事務局〕高田事務局長・松江事務局次長・加藤次長補佐兼庶務係長

櫻井次長補佐兼広域振興係長・秋山介護保険係長・宇佐美庶務係主事

1 開会…14:30

2 広域連合長あいさつ

3 協議・報告事項

(1) リニア時代に向けた新施設の整備に関する検討について(資料No.1)【説明者：松江事務局次長】

・第3回リニア時代に向けた新施設の整備に関する検討委員会の結果を報告する。

10月4日に開催、委員26名中15名参加、アドバイザー2名参加。

会議の内容は、報告事項として第2回検討委員会の報告、アリーナ立川立飛視察の報告、9月広域連合会議での確認事項で、協議事項としては、利用形態、施設規模、立地条件についてそれぞれ検討をしていただいた。

次回の委員会は、11月14日(木)18:00からりんご庁舎の会議室にて開催予定。

・利用形態、施設規模のこれまでの議論のまとめ

\*利用形態(興行主体か住民利用主体かなど)について

・採算性を考慮した十分なシミュレーションが必要。

・プロスポーツを軸にコンサートなどの興行や大規模展示会などもできる多目的な機能。

・何のスポーツのクラブチームを誘致するか採算も考えた検討が必要。

・地域の核となるスポーツを育てるという役割を果たすことが必要。

・子どもたちにレベルの高い本格的なスポーツに接する機会、生涯スポーツの機会の提供。

・学校、市町村の枠を越えて子どもたちがスポーツのできる環境の提供、そのためには地域の支えが必要。

・本格的音楽鑑賞は飯田文化会館、中小規模のコンベンションはエス・バードの活用を基本とする。

\*施設規模(座席数など)について

・身の丈にあった施設の観点から可動席を含め3,000席が妥当、ただし資金調達と健全運営が可能ならば5,000人規模を目指す。

・地元も使え興行にも使えるためのメインアリーナ、サブアリーナの整備。

・メインアリーナは観る場所、サブアリーナはスポーツをする場所を基本とする。

- ・十分な駐車場の確保。
- \*その他事項について
  - ・施設が本当に必要かの議論は重要である。
  - ・運営側がどのように使おうとしているかも含めた検討が必要。
  - ・毎年の収益でランニングコストが賄えることが重要。
  - ・リニア開業に間に合わせるか、慌てず開業後とするか整備時期の検討が必要。

・第3回検討委員会の意見のまとめ

ビジョンを示してもらえれば議論がやりやすくなる。

バレーボールの一部リーグを伊那市で開催を予定したところ既に半分以上のチケットが売れ、地域の需要はあると感じている。地元アリーナがあればスポーツを通じて地域に貢献できると考えている。

作るかどうかがあやふやであり、作らないこともあり得ると感じており、意見を出しにくい。

住んでいる人にとって現実的にこういうものが欲しいといったことをこの委員会で議論し、その議論を外部に発信しいろいろな反応をもらい広がりを作ることが必要。

ビジョンはスポーツを活かした地域づくりと考える、夢を実現するためには、まず必然性を固めることが必要。

アリーナをめぐる状況が変わってきている。アリーナ運営権をチームが持っていないとライセンスが認められなくなる。

リニア関連用地に候補地も入っており、住民に不安がある。早く結論を出すべき。

ビジョンがない限りは検討委員会でいくら議論しても実現には至らない。実際の運営者の考え方を明確にしてすり合わせる官民連携の議論の場が必要。

若者として夢を語ってほしいと感じる。

夢を語りながら膨らませていきたい。

・次回は第4回目の検討委員会となるが、この4回目をもって検討委員会としての意見をまとめて広域連合会議に提案していきたいと考えている。

→ 説明内容確認、質疑なし。

(2) 介護人材確保に向けた「福祉のしごと地区相談会」の開催について（資料No.2）

【説明者：松江事務局次長】

介護職員人材確保のため社会福祉法人長野県社会福祉協議会が中心となって実施する事業の案内。

「福祉のしごと地区相談会」として、飯田会場（エス・バード）10月30日（水）、12月24日（火）、1月31日（金）、下條村会場（下條村村民センター）11月25日（月）、合計4回当地域で行われる。参加事業者は福祉関係10社程度。

→ 説明内容確認、質疑なし。

(3) 満蒙開拓平和記念館セミナー棟竣工について（資料No.3）【説明者：高田事務局長】

10月19日（土）にセミナー棟竣工式が行われた。

主催者として寺沢館長があいさつをした。来賓祝辞は長野県の大月健康福祉部長、県議会清沢議長からメッセージがあり小池県議が代読、阿智村長で3名。

祝電披露では広域連合長のメッセージが披露された。

設計者と施工者に感謝状の贈呈。

松川高校のボランティア部が施設のガイドをやっておりその部長が誓いのことばを行った。

満蒙開拓平和記念館は、平成25年4月に開館され6年半が経過した。令和元年10月17日現在の来館者数は171,800人。

阿智村長も出席いただいていたので、ぜひ一言お願いしたい。

阿智村： セミナー棟が10月19日に完成。首長方の理解と、長野県の皆さま、議会の皆さま、ご尽力いただき感謝申し上げます。竣工式も無事盛大に行われた。

木造で珍しい組み方をしている建物、120人収容可能。早速、修学旅行生が来館している。

近くに立ち寄った際は、ぜひ見学をしていただきたい。

事務局長： 法人からは、事業完了と実績報告書が提出されており、これから補助金交付の手続きに入る。

→ 説明内容確認、質疑なし。

(4) 飯田広域消防本部から（資料No.4）【説明者：有賀消防次長兼総務課長】

・火災状況について

火災件数83件、昨年同日比21件の増。建物火災が37件、昨年同日比11件の増。そのうち16件が住宅火災。

最近の火災について分析をすると、たばこが原因の火災が6件昨年比プラス5件。煙突部の眼鏡石の劣化などが原因の火災が4件昨年比プラス4件。このような状況を踏まえて、11月9日～11月15日の秋の火災予防運動の際に、車両広報、防火講和、消防訓練などで火災予防の啓発を行う。

・令和元年台風第19号による被害等について（最終報）

市町村からの聴取により作成した資料のため、正確性がない部分もあるかと思う。

防災情報としては、美和ダムの計画規模を超える洪水が予想されたため、12日21時30分から異常洪水時防災操作（緊急放流）が実施された。天龍川市田観測局（高森町）において、13日1時過ぎに氾濫危険水位を超える見込みであったが、13日0時以降の最高水位は13日0時40分に1.29mを観測し、その後、水位は低下した。

警報等発表状況は、資料に記載のとおり。

雨量は、当地域では大鹿村131mm、南信濃134mmが最高。

避難発令状況について、避難指示はなかったが、避難勧告は飯田市上村、南信濃、松川町古町、福与で発令。

当地域の避難者数は240人。

消防本部の対応として、美和ダムの放流情報を受け天龍川流域付近の消防署、分署に対して全職員参集を発令した。消防署、分署の通常の勤務人員は56人だが、増員をかけ146人勤務した。一部の市町村に消防職員をリエゾンとして派遣させていただいた。

災害出動状況は、河川越水懸念に対する広報活動を行った。

・台風第19号に係わる長野県消防相互応援隊（飯田隊）派遣状況について

第1次派遣隊から第4次派遣隊まで、10月13日から10月16日までの4日間にわたり10隊35名を派遣。主に救助隊及び救急隊。

16日午後2時30分に長野市消防局から長野県消防相互応援隊出動全体に応援要請が解除された。

飯田広域消防は、ボートによる捜索・救助活動、ゾンデ棒を使った地中の行方不明者ローラー作戦捜索活動を実施。

今回の台風は、消防機関として天龍川越水の覚悟で臨んだ。そんな中課題として見えたのが、避難勧告等が発令された地域の人数と比較して、実際に避難した人数がとても少ないことがわかった。そういった状況も踏まえて効果的な広報等を行い、今後も地域防災力の向上に努めていきたい。

→ 説明内容確認、質疑なし。

(5) いいむす21登録判定について（資料No.5）【説明者：櫻井次長補佐兼広域振興係長】

今回審査の結果、適合と認められた1件の事業所の登録について審議、承認をいただきたい。

多摩川精機エレクトロニクス株式会社、新システムにおけるいいむす21の更新で71ポイント取得。  
→ 異議なし、承認。

(6) 後援依頼について（資料No.6）【説明者：加藤次長補佐兼庶務係長】

審査案件4件。

・伊那谷エントランス主催、伊那谷エントランスインバウンドセミナー。初めての申請。伊那市の事業者で、伊那谷の宿泊施設、体験施設、飲食店、観光スポットの紹介など、予約サイトも運営している。開催目的は、観光業・飲食業に携わる方向けのインバウンドセミナー。対象は、伊那谷を含め南信州全域の観光業・飲食業の方々。上伊那広域連合にも後援申請があり、承諾する旨の連絡があった。

・品川聖阿智村コンサート実行委員会主催、品川聖プロデュース南信州阿智村コンサートVol.10。例年申請があり、後援しているもの。

・三遠南信自動車道飯橋道路2工区開通記念イベント実行委員会主催、三遠南信自動車道天竜峡IC・千代IC・龍江IC開通記念イベント。11月10日に天竜峡PAをメイン会場としてイベントが行われる。天竜峡観光開発整備推進協議会等も協賛する。

・パンフレットへの名義使用の申請。国土交通省中部地方整備局飯田国道事務所主催、三遠南信自動車道天竜峡IC～龍江IC開通記念に伴う地域周知へのパンフレット。

→ 異議なし、承認。

#### 4 長野県

##### (1) 南信州地域振興局

・台風第19号に関する被害、被災地への応援について

南信州地域振興局管内の人的及び住家被害はなし。農業被害は、県全体で現段階では13億8,700万円  
でまだ増える見込み、管内はりんごを中心として1,140万円。

県内の被害状況は、10月21日現在、死亡者3名、行方不明者2名。

南信州地域からの応援職員の派遣は、県職員で災害査定の対応として技術系職員を中心に行っている。

県では義援金の募集も開始する。

県では今回の大災害を踏まえて復旧復興方針を策定する。今月末の県と市町村の協議の場で、その方針について議論され、それを踏まえて策定していきたい。

被害があった東北信では様々なイベントが延期・中止となっているが、被害のなかったところについては県全体でも元気を出していきたいので、しっかり実施していただきたい。

・豚コレラの防疫対応について

先月、高森町の養豚場で豚コレラが発生し殺処分を含む防疫措置を実施。合計で229名を動員し作業を行った。協力いただいた市町村、酪農組合、獣医師会、建設業協会に感謝申し上げる。

今回の経験を踏まえて今後に生かすため、関係機関や動員した職員にアンケート調査を実施した。

指揮命令ができる人員人材が必要。指揮命令システムを明確にして共有すること。農場規模から今回は、4時間交代の4班体制、1日で作業完了すると見込んでいたが、想定外の汚染物品等がでてきて大幅に作業が遅れたため、十二分な余裕を持たせた動員計画及び準備が必要。アンケートからこのように今後の対応などについてまとめ、地域振興局長会議の場で共有した。

飼養豚へのワクチン接種は、新聞等でも話題になっており承知しているかもしれないが、10月15日に国が長野県を接種推奨地域に設定、10月18日に県が国へ接種プログラムを協議、10月21日国が接種プログラムを確認、同日付けで県が接種を公示、10月26日全県一斉接種開始となる。

県全体で72,000頭、管内は14,000頭。可及的速やかに完了させる。

・南信州地域振興局長からの事業提案について

地方事務所から地域振興局になってから制度化されたもの。この地域の特性等を踏まえて、この地域の課題を解決すべく、記載の5事業（民俗芸能の保存・継承・活用支援、プラスチックごみ削減住民運動の展開、ジビエ振興のための総合的支援、三位一体によるシードル振興、航空機産業の振興）につい

て政策パッケージとして県庁に提案する。県の予算、制度を使って実施していきたい。その他にも改善要望事項を提案していく。

・令和元年度元気づくり支援金について

今年度は2次が終了し1,500万円の残額があり3次まで実施した。3次の要望状況は、21件2,175万円。他の地域の余った予算も譲っていただき、18件1,659万円の採択をした。有効に活用できるよう採択できた。

・長野県議会 令和元年9月定例会の議論から

地元選出議員4名の一般質問やそれぞれの委員会での質疑の内容をまとめたので、参考としていただきたい。

(主な意見等)

高森町： 豚コレラについては、長野県職の皆さん始め地域にもご迷惑をお掛けし大変申し訳ない。

豚コレラの関係は、県でまとめたいただいた内容のとおりで、問題点となっていたところもきちんと拾っていただいている。資料にも記載があるように、県からの指揮命令系統についてはぜひ改善をお願いしたい。

これから農家が再建していくにあたり、例えば子豚を仕入れたりする際は、ワクチンが打たれた状態で仕入れるのか、その都度打っていくのかなど教えていただきたい。

土屋局長： 生まれた子豚は、授乳期間中ワクチンは打たない。授乳期間30～40日を終えてワクチンを打つ。打ってから20日間くらいは出荷できない。肥育農家は打った子豚が入ってくるのではないかと、家畜保健担当がいないので詳しいことは言えないが。

高森町： 元気づくり支援金について、春先のイベント等が絡んでくるものに対して自主財源があってさらに財源をいただくようなものであれば事前着手をしながら申請をしていってということも可能だが、なかなか1次審査が終わるまでの間で、色んなものを上げづらい状況にある。予算執行前とか予算可決前で要望を取るのが行政手続きとして良いのか悪いのかは別問題として、できれば令和2年度の要望は3月中旬くらいに審査を終えて、4月に入って速やかに交付申請をすることができるのか検討いただければ、年度単位で上手に回しやすくなる。

土屋局長： 今年度の状況で言うと、2月に締め切って4月下旬に選定委員会を行った。これをもう少し前倒して、秋のうちから事業要望をいただいて4月早々に選定委員会ができれば良いのかなとも思っている。ただいまの意見を参考にしながら検討し、本庁にも伝えていきたい。

(2) 飯田建設事務所

・台風第19号に関する公共土木施設災害の状況について

当所は3件で1億円余りの状況。県全体では、県工事が1,200件の500億円、市町村工事が2,200件の200億円、合計3,400件の700億円という現在の発生状況。

当所管内は比較的無事であったが、東北信の千曲川流域で災害が多く発生した。建設部においては、公共土木施設災害の復旧、応急対策、災害査定、本復旧を鋭意進めているところ。

(3) 飯田保健福祉事務所

→ 報告事項なし

5 当面の日程について

10月3日(水) 三遠南信サミット(飯田市)

10月31日(木) 南信州地域の高校の将来像を考える協議会 10:00

11月14日(木) リニア時代に向けた新施設の整備に関する検討委員会 18:00

11月29日（金） 令和元年南信州広域連合議会第2回定例会 10:00

6 閉会…15:25